

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of: **Takashi YAMADA, et al.**

Serial No.: **Not Yet Assigned**

Filed: **November 13, 2001**

For: **DISTRIBUTION SYSTEM CAPABLE OF EASY REGISTRATION OR RENEWAL  
OF RINGING TONE, AND CELLULAR PHONE USED THEREFOR**

**CLAIM FOR PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119**

Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

November 13, 2001

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application is hereby requested for the above-identified application, and the priority provided in 35 U.S.C. 119 is hereby claimed:

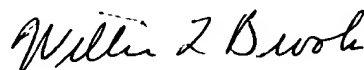
**Japanese Appln. No. 2000-347842, filed November 15, 2000**

In support of this claim, the requisite certified copy of said original foreign application is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the applicants have complied with the requirements of 35 U.S.C. 119 and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of said certified copy.

In the event that any fees are due in connection with this paper, please charge our Deposit Account No. 01-2340.

Respectfully submitted,  
ARMSTRONG, WESTERMAN, HATTORI  
McLELAND & NAUGHTON, LLP



William L. Brooks  
Reg. No. 34,129

Atty. Docket No.: 011501  
Suite 1000, 1725 K Street, N.W.  
Washington, D.C. 20006  
Tel: (202) 659-2930  
Fax: (202) 887-0357  
WLB/ll



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年11月15日

**CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT**

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-347842

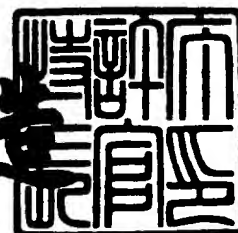
出 願 人  
Applicant(s):

三洋電機株式会社

2001年 6月12日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 NBC1002096

【提出日】 平成12年11月15日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04M 11/08

【発明者】

    【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号 三洋電機株式会  
社内

    【氏名】 山田 節

【発明者】

    【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号 三洋電機株式会  
社内

    【氏名】 後藤 章二

【特許出願人】

    【識別番号】 000001889

    【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号

    【氏名又は名称】 三洋電機株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100064746

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 深見 久郎

【選任した代理人】

    【識別番号】 100085132

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 森田 俊雄

【選任した代理人】

    【識別番号】 100091409

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 伊藤 英彦

【選任した代理人】

【識別番号】 100096781

【弁理士】

【氏名又は名称】 堀井 豊

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008693

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 配信システムおよび携帯電話機

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツデータと着信メロディとを保持し、前記コンテンツデータの配信要求に応じて前記コンテンツデータおよび前記着信メロディを配信するサーバと、

前記コンテンツデータの配信要求を前記サーバへ送信し、前記サーバから前記コンテンツデータとともに着信メロディを受信する携帯電話機とを含む配信システム。

【請求項 2】 前記携帯電話機は、前記サーバからの認証データの送信要求に応じて認証データを前記サーバへ送信し、前記サーバにおいて前記認証データが認証されたことに基づいて前記コンテンツデータおよび前記着信メロディを受信する、請求項 1 に記載の配信システム。

【請求項 3】 前記サーバは、前記コンテンツデータの配信要求に応じて着信メロディを抽出して再生し、その再生した着信メロディを前記携帯電話機へ送信し、

前記携帯電話機は、前記着信メロディの配信要求が入力されたことに基づいて前記着信メロディの配信要求を前記サーバへ送信する、請求項 1 に記載の配信システム。

【請求項 4】 前記携帯電話機は、前記サーバへ前記着信メロディの配信要求を送信した場合のみ前記着信メロディを受信する、請求項 1 に記載の配信システム。

【請求項 5】 前記コンテンツデータは、音楽データであり、

前記サーバは、配信要求された音楽データに関連するメロディを前記着信メロディとして前記携帯電話機へ配信する、請求項 1 に記載の配信システム。

【請求項 6】 前記コンテンツデータは、音楽データであり、

前記サーバは、配信要求される回数が所定回数以上の音楽データの一部を前記着信メロディとして前記携帯電話機へ配信する、請求項 1 に記載の配信システム。

【請求項 7】 前記コンテンツデータは、音楽データであり、

前記サーバは、配信要求された音楽データの属するジャンルに基づいて決定される着信メロディを前記携帯電話機へ配信する、請求項 1 に記載の配信システム。

【請求項 8】 前記携帯電話機は、前記コンテンツデータと前記着信メロディとを非通話状態で前記配信サーバから受信する、請求項 1 から請求項 7 のいずれか 1 項に記載の配信システム。

【請求項 9】 前記携帯電話機のユーザは、前記コンテンツデータに対する料金のみを前記サーバへ支払う、請求項 1 から請求項 8 のいずれか 1 項に記載の配信システム。

【請求項 10】 コンテンツデータと着信メロディとを保持するサーバから前記コンテンツデータとともに前記着信メロディを受信する携帯電話機であって

前記サーバとの通信を行なう送受信部と、

前記コンテンツデータおよび前記着信メロディを記憶するメモリ部と、

着信音発生部と、

指示を入力するためのキー操作部と、

制御部とを備え、

前記制御部は、前記キー操作部から入力された前記コンテンツデータの配信要求に応じて前記送受信部を介して前記配信要求を前記サーバへ送信し、前記送受信部を介して受信した前記コンテンツデータおよび前記着信メロディを前記メモリ部へ入力し、前記受信した着信メロディを前記着信音発生部に設定し、

前記着信音発生部は、前記制御部が前記送受信部を介して通常の通話を着信すると前記設定された着信メロディを発生させる、携帯電話機。

【請求項 11】 前記制御部は、前記サーバからの認証データの送信要求に応じて前記メモリ部に記憶された認証データを読み出し、その読み出した認証データを前記送受信部を介して前記サーバへ送信し、前記サーバにおいて前記認証データが認証されたことに基づいて前記コンテンツデータおよび前記着信メロディを前記送受信部を介して受信する、請求項 10 に記載の携帯電話機。

【請求項 1 2】 前記制御部は、前記送受信部を介して前記着信メロディの配信要求を前記サーバへ送信した場合のみ前記着信メロディを受信する、請求項 1 0 に記載の携帯電話機。

【請求項 1 3】 前記着信メロディを外部へ出力するための出力部をさらに備え、

前記制御部は、前記サーバにおいて再生された着信メロディを前記送受信部を介して受信し、その受信した着信メロディを前記出力部へ与え、

前記キー操作部を介して前記着信メロディの配信要求が入力されたことに応じて前記着信メロディの配信要求を前記送受信部を介して前記サーバへ送信する、請求項 1 0 に記載の携帯電話機。

【請求項 1 4】 前記コンテンツデータは、音楽データであり、  
前記制御部は、配信要求した音楽データに関連するメロディを前記着信メロディとして受信する、請求項 1 0 に記載の携帯電話機。

【請求項 1 5】 前記コンテンツデータは、音楽データであり、  
前記制御部は、前記サーバへ配信要求される回数が所定回数以上の音楽データの一部を前記着信メロディとして受信する、請求項 1 0 に記載の携帯電話機。

【請求項 1 6】 前記コンテンツデータは、音楽データであり、  
前記制御部は、配信要求した音楽データの属するジャンルに基づいて決定される着信メロディを受信する、請求項 1 0 に記載の携帯電話機。

【請求項 1 7】 前記制御部は、前記コンテンツデータと前記着信メロディとを非通話状態で受信する、請求項 1 0 から請求項 1 6 のいずれか 1 項に記載の携帯電話機。

【請求項 1 8】 前記制御部は、前記キー操作部から入力された着信メロディの設定要求に応じて前記受信した着信メロディを前記メモリ部から読出して前記着信音発生部へ与える、請求項 1 0 から請求項 1 7 のいずれか 1 項に記載の携帯電話機。

【請求項 1 9】 コンテンツデータの配信要求を行ない、前記コンテンツデータと着信メロディとを受信して前記着信メロディを設定する携帯電話機と、  
前記携帯電話機からの前記コンテンツデータの配信要求に応じて前記コンテン

ツデータと前記着信メロディとを前記携帯電話機に配信する事業者と、

前記コンテンツデータを前記事業者に提供するコンテンツ会社とを含み、

前記携帯電話機のユーザは、前記事業者に前記コンテンツデータに対する対価のみを支払い、

前記事業者は、前記コンテンツデータに対する対価を前記コンテンツ会社に支払い、前記コンテンツデータの広告料および販売手数料を前記コンテンツ会社から受取る、配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、コンテンツデータとともに着信メロディをユーザへ配信する配信システムおよびコンテンツデータと着信メロディとを受信する携帯電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、情報技術（IT（Information Technology））の発達により携帯電話機は、本来の通話機能に加えて各種の情報を送受信するための携帯端末装置としての機能も有するに至っている。つまり、携帯電話機は、インターネットを介して各種情報の受信、およびメールの送受信等を行っている。

【0003】

また、最近ではインターネットを介して音楽データの配信サービスも行なわれている。たとえば、音楽CDを販売する販売会社がインターネットを介して音楽データを無料でユーザに配信し、ユーザが配信された音楽データを聴き、その音楽データが記録された音楽CDを購入することによって音楽CDの販売数を増やそうとしている。このように、インターネットによる音楽配信は、音楽CDの広告として用いられている。また、音楽データは、広告としてではなく、販売のためにインターネットまたはコンビニエンスストアに設置されたステーションを介してユーザに配信される場合もある。



## 【 0 0 0 4 】

一方、携帯電話機は、他人からの通話を受信したとき、受信したことを携帯電話機のユーザに知らせるための着信メロディ機能を有している。そして、この着信メロディは、携帯電話機を製造している各社において、殆ど同じであり、複数の携帯電話機に同時に着信があった場合、どの携帯電話機に着信があったのかが解りにくい。このような事情から最近では、携帯電話機のユーザは自分の好みの着信メロディを携帯電話機に登録することができる。つまり、携帯電話機に備えられたキーを用いて各音符を登録して1つの着信メロディを携帯電話機に登録したり、購入した携帯電話機に備えられた複数の着信メロディから自分の好きな着信メロディを選択することによって着信メロディを携帯電話機に登録することが行なわれている。

## 【 0 0 0 5 】

また、最近では、一部の機種において、携帯電話のメールサービスで着信メロディを配信し、ユーザが希望の着信メロディを購入して音符データをダウンロードすることにより、携帯電話機の着信メロディとして取込むことを可能にする、いわゆる「着信メロディサービス」が提供されている。このような着信メロディサービスでは、ユーザが携帯電話機を通話状態にしてメロディセンタへアクセスし、メロディの試聴、選択、ダウンロード、および登録までの一連の過程を行なう。

## 【 0 0 0 6 】

上述したように、携帯電話機を用いて各種のサービスが行なわれようとしており、配信されるコンテンツデータも音楽データに限らず、画像データ、地図データ等の各種のコンテンツデータが配信されることが予想される。

## 【 0 0 0 7 】

## 【発明が解決しようとする課題】

しかし、着信メロディを複数種類の着信音パターンや着信メロディから選択する方法では、着信音パターンやメロディが限られており、ユーザの希望する着信メロディが必ず存在するとは限らない。また、手入力による着信メロディの作成であると、各音符を1つずつ手入力するため煩雑であり、メロディ全体を入力す

るのに長時間を要する。さらに、上述した着信メロディサービスによる方法では、メロディセンタへアクセスしてから着信メロディのダウンロードおよび着信メロディの登録までの間、メロディセンタと通話状態を保持しなければならず、ユーザが通話費用を負担しなければならない。このように、データ圧縮されてデータ量の小さい着信メロディデータをダウンロードするのにも、配信手続きが煩雑な上、毎回通話料が必要であるという問題がある。

【0008】

そこで、本発明は、かかる問題を解決するためになされたものであり、その目的は、簡単に着信メロディを登録・変更できるコンテンツデータの配信システムおよび携帯電話機を提供することである。

【0009】

【課題を解決するための手段および発明の効果】

この発明による配信システムは、コンテンツデータと着信メロディとを保持し、コンテンツデータの配信要求に応じてコンテンツデータおよび着信メロディを配信するサーバと、コンテンツデータの配信要求をサーバへ送信し、サーバからコンテンツデータとともに着信メロディを受信する携帯電話機とを含む。

【0010】

この発明による配信システムにおいては、携帯電話機がコンテンツデータの配信要求をサーバへ行なうと、サーバは、配信要求に応じてコンテンツデータと着信メロディとを携帯電話機へ送信する。

【0011】

したがって、この発明によれば、携帯電話機のユーザは、コンテンツデータを受信時に着信メロディも同時に受信できる。その結果、ユーザは、自己の携帯電話機に容易に着信メロディを受信できる。

【0012】

好ましくは、携帯電話機は、サーバからの認証データの送信要求に応じて認証データをサーバへ送信し、サーバにおいて認証データが認証されたことに基づいてコンテンツデータおよび着信メロディを受信する。

【0013】

携帯電話機は、サーバへ認証データを送信し、サーバにおいて正規の携帯電話機からのアクセスであると判断された後、コンテンツデータおよび着信メロディを受信する。

【 0 0 1 4 】

したがって、この発明によれば、正規の携帯電話機のユーザにだけ、コンテンツデータとともに着信メロディを配信できる。

【 0 0 1 5 】

好ましくは、サーバは、コンテンツデータの配信要求に応じて着信メロディを抽出して再生し、その再生した着信メロディを携帯電話機へ送信し、携帯電話機は、着信メロディの配信要求が入力されたことに基づいて着信メロディの配信要求をサーバへ送信する。

【 0 0 1 6 】

携帯電話機は、サーバとの間で通話状態を保持したまま、サーバで再生された着信メロディを受信する。そして、携帯電話機のユーザは、着信メロディを試聴した後に、その着信メロディの配信を要求するか否かを入力する。携帯電話機は、ユーザが着信メロディの配信要求を入力したとき、その配信要求をサーバへ送信する。

【 0 0 1 7 】

したがって、この発明によれば、ユーザは実際に試聴して着信メロディの配信を受けるか否かを決定でき、好きな着信メロディのみを受信できる。

【 0 0 1 8 】

好ましくは、携帯電話機は、サーバへ着信メロディの配信要求を送信した場合のみ着信メロディを受信する。

【 0 0 1 9 】

携帯電話機は、サーバへコンテンツデータの配信要求を行なう場合、着信メロディの配信を要求するか否かを判断し、必要な場合だけ着信メロディの配信要求をサーバへ行なう。

【 0 0 2 0 】

したがって、この発明によれば、携帯電話機のユーザは、着信メロディを新し

くしたいと思ったときに更新できる。

【0021】

好ましくは、コンテンツデータは、音楽データであり、サーバは、配信要求された音楽データに関連するメロディを着信メロディとして携帯電話機へ配信する。

【0022】

サーバは、音楽コンテンツデータの配信要求があったとき、その音楽コンテンツデータとともに、その音楽コンテンツデータに関連する着信メロディを携帯電話機へ配信する。

【0023】

したがって、この発明によれば、ユーザが聴きたいと思った曲を着信メロディとして携帯電話機に設定できる。

【0024】

好ましくは、コンテンツデータは、音楽データであり、サーバは、配信要求される回数が所定回数以上の音楽データの一部を着信メロディとして携帯電話機へ配信する。

【0025】

サーバは、音楽コンテンツデータの配信要求を受信すると、人気の高い曲の一部を着信メロディとして携帯電話機へ送信する。

【0026】

したがって、この発明によれば、ユーザは流行っている曲を着信メロディとして携帯電話機に設定できる。

【0027】

好ましくは、コンテンツデータは、音楽データであり、サーバは、配信要求された音楽データの属するジャンルに基づいて決定される着信メロディを前記携帯電話機へ配信する。

【0028】

サーバは、音楽コンテンツデータの配信要求を受信すると、配信要求された音楽コンテンツデータの属するジャンルに対して決定されている着信メロディを携

帯電話機へ送信する。

【 0 0 2 9 】

したがって、この発明によれば、同じジャンルの音楽コンテンツデータの配信を要求する限り、携帯電話機は同じ着信メロディを受信できる。

【 0 0 3 0 】

好ましくは、携帯電話機は、コンテンツデータと着信メロディとを非通話状態で配信サーバから受信する。

【 0 0 3 1 】

携帯電話機は、コンテンツデータと着信メロディとを非通話状態で受信する。

したがって、この発明によれば、携帯電話機のユーザは、より少ない費用でコンテンツデータを受信できる。

【 0 0 3 2 】

好ましくは、携帯電話機のユーザは、コンテンツデータに対する料金のみをサーバへ支払う。

【 0 0 3 3 】

携帯電話機のユーザは、着信メロディを無料でコンテンツデータとともに受信する。

【 0 0 3 4 】

したがって、この発明によれば、携帯電話機のユーザは、着信メロディをサービスとして受信できる。

【 0 0 3 5 】

また、この発明による携帯電話機は、コンテンツデータと着信メロディとを保持するサーバからコンテンツデータとともに着信メロディを受信する携帯電話機であって、サーバとの通信を行なう送受信部と、コンテンツデータおよび着信メロディを記憶するメモリ部と、着信音発生部と、指示を入力するためのキー操作部と、制御部とを備え、制御部は、キー操作部から入力されたコンテンツデータの配信要求に応じて送受信部を介して配信要求をサーバへ送信し、送受信部を介して受信したコンテンツデータおよび着信メロディをメモリ部へ入力し、受信した着信メロディを着信音発生部に設定し、着信音発生部は、制御部が送受信部を

介して通常の通話を着信すると設定された着信メロディを発生させる。

## 【0036】

この発明による携帯電話機においては、キー操作部を介してコンテンツデータの配信要求が入力されると、コンテンツデータの配信要求をサーバへ送信し、サーバからコンテンツデータおよび着信メロディを受信する。受信したコンテンツデータおよび着信メロディはメモリに記憶されるとともに、着信メロディは着信音発生部に設定される。そして、他の携帯電話機から着信があると、着信音発生部は、新たに設定された着信メロディを発生させる。

## 【0037】

したがって、この発明によれば、携帯電話機は、コンテンツデータとともに受信した着信メロディを自動設定できる。

## 【0038】

好ましくは、携帯電話機の制御部は、サーバからの認証データの送信要求に応じてメモリ部に記憶された認証データを読み出し、その読み出した認証データを送受信部を介してサーバへ送信し、サーバにおいて認証データが認証されたことに基づいてコンテンツデータおよび着信メロディを送受信部を介して受信する。

## 【0039】

携帯電話機の制御部は、サーバからの認証データの要求に応じて、メモリから認証データを読み出し、その読み出した認証データをサーバへ送信する。そして、携帯電話機は、サーバにおいて、認証データが認証されたことに基づいてコンテンツデータおよび着信メロディを受信する。

## 【0040】

したがって、この発明によれば、正規の携帯電話機に対してのみ、コンテンツデータおよび着信メロディを送信できる。

## 【0041】

好ましくは、携帯電話機の制御部は、送受信部を介して着信メロディの配信要求をサーバへ送信した場合のみ着信メロディを受信する。

## 【0042】

携帯電話機は、サーバへの着信メロディの配信要求を任意に行ない、着信メロ

ディの配信要求を行なった場合のみサーバから着信メロディを受信する。

【 0 0 4 3 】

したがって、この発明によれば、携帯電話機のユーザは、着信メロディの配信を希望するときだけ、着信メロディを受信できる。

【 0 0 4 4 】

好ましくは、携帯電話機は、着信メロディを外部へ出力するための出力部をさらに備え、制御部は、サーバにおいて再生された着信メロディを送受信部を介して受信し、その受信した着信メロディを出力部へ与え、キー操作部を介して着信メロディの配信要求が入力されたことに応じて着信メロディの配信要求を送受信部を介してサーバへ送信する。

【 0 0 4 5 】

携帯電話機のユーザは、サーバで再生された着信メロディを試聴し、ユーザが着信メロディの配信を希望した場合だけ、携帯電話機は、着信メロディを受信する。

【 0 0 4 6 】

したがって、この発明によれば、ユーザは実際に試聴して着信メロディの配信を受けるか否かを決定でき、好きな着信メロディのみを受信できる。

【 0 0 4 7 】

好ましくは、コンテンツデータは、音楽データであり、携帯電話機の制御部は、配信要求した音楽データに関連するメロディを着信メロディとして受信する。

【 0 0 4 8 】

携帯電話機は、配信要求した音楽コンテンツデータと関連する着信メロディを受信する。

【 0 0 4 9 】

したがって、この発明によれば、ユーザが聴きたいと思った曲を着信メロディとして携帯電話機に設定できる。

【 0 0 5 0 】

好ましくは、コンテンツデータは、音楽データであり、携帯電話機の制御部は、サーバへ配信要求される回数が所定回数以上の音楽データの一部を着信メロデ

ィとして受信する。

【 0 0 5 1 】

携帯電話機は、音楽コンテンツデータの配信要求をサーバへ送信すると、人気の高い曲の一部を着信メロディとして受信する。

【 0 0 5 2 】

したがって、この発明によれば、ユーザは流行っている曲を着信メロディとして携帯電話機に設定できる。

【 0 0 5 3 】

好ましくは、コンテンツデータは、音楽データであり、携帯電話機の制御部は、配信要求した音楽データの属するジャンルに基づいて決定される着信メロディを受信する。

【 0 0 5 4 】

携帯電話機は、音楽コンテンツデータの配信要求を送信すると、配信要求した音楽コンテンツデータの属するジャンルに対して決定されている着信メロディを受信する。

【 0 0 5 5 】

したがって、この発明によれば、同じジャンルの音楽コンテンツデータの配信を要求する限り、携帯電話機は同じ着信メロディを受信できる。

【 0 0 5 6 】

好ましくは、携帯電話機の制御部は、コンテンツデータと着信メロディとを非通話状態で受信する。

【 0 0 5 7 】

携帯電話機は、コンテンツデータと着信メロディとを非通話状態で受信する。

したがって、この発明によれば、携帯電話機のユーザは、より少ない費用でコンテンツデータを受信できる。

【 0 0 5 8 】

好ましくは、携帯電話機の制御部は、キー操作部から入力された着信メロディの設定要求に応じて受信した着信メロディをメモリ部から読出して着信音発生部へ与える。



## 【 0 0 5 9 】

携帯電話機の制御部は、キー操作部から着信メロディの設定要求が入力されると、メモリ部から着信メロディを読み出し、着信音発生部に設定する。

## 【 0 0 6 0 】

したがって、この発明によれば、ユーザは、設定したいときに着信メロディを設定できる。

## 【 0 0 6 1 】

また、この発明による配信システムは、コンテンツデータの配信要求を行ない、コンテンツデータと着信メロディとを受信して着信メロディを設定する携帯電話機と、携帯電話機からのコンテンツデータの配信要求に応じてコンテンツデータと着信メロディとを携帯電話機に配信する事業者と、コンテンツデータを事業者に提供するコンテンツ会社とを含み、携帯電話機のユーザは、事業者にコンテンツデータに対する対価のみを支払い、事業者は、コンテンツデータに対する対価をコンテンツ会社に支払い、コンテンツデータの広告料および販売手数料をコンテンツ会社から受取る。

## 【 0 0 6 2 】

この発明による配信システムにおいては、携帯電話機のユーザは、自己の携帯電話機を用いて事業者にコンテンツデータの配信要求を行ない、事業者からコンテンツデータと着信メロディとを受信して着信メロディを自己の携帯電話機に設定する。また、事業者はコンテンツ会社からコンテンツデータの提供を受ける。携帯電話機のユーザは、コンテンツデータに対する対価のみを事業者に支払い、事業者は、コンテンツデータの対価をコンテンツ会社に支払い、コンテンツ会社から広告料および販売手数料を受取る。つまり、コンテンツ会社と事業者は着信メロディに対する対価を受け取らず、着信メロディをコンテンツデータの配信を促進する広告として用いる。なお、携帯電話機のユーザが支払う「コンテンツデータに対する対価のみ」とは、コンテンツデータおよび着信メロディのうち、コンテンツデータに対する対価のみを意味するものである。したがって、携帯電話機のユーザが携帯電話機の基本料金および通話料金を支払うことは除外されていない。

## 【0063】

したがって、この発明によれば、携帯電話機のユーザは、配信を希望するコンテンツデータに対する対価のみを支払うだけで、着信メロディを受信して自己の携帯電話機に自動設定できる。

## 【0064】

## 【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。なお、図中同一または相当部分には同一符号を付してその説明は繰返さない。

## 【0065】

図1を参照して、本発明の実施の形態による音楽コンテンツデータの配信システムを概念的に説明する。配信システム200は、携帯電話機10、11、・・・と、基地局20と、電話通信網30と、基地局制御部40と、サーバ50とを備える。携帯電話機10、11、・・・と、基地局20とは基地局エリア21を構成し、基地局20と、携帯電話機10、11、・・・の各々とは無線で通信が行なわれる。また、電話通信網30には、固定端末61、62、63、・・・が接続されており、固定端末61、62、63、・・・と携帯電話機10、11、・・・とは電話通信網30を介して通話をすることができる。サーバ50は、基地局制御部40を介して電話通信網30と接続されており、電話通信網30および基地局20を介して携帯電話機10、11、・・・へ音楽コンテンツデータおよび着信メロディを配信可能である。つまり、サーバ50は、固定端末61、62、63、・・・へ音楽コンテンツデータおよび着信メロディを配信しない。サーバ50から携帯電話機10、11、・・・への音楽コンテンツデータおよび着信メロディの配信は、一般家庭に設置されている電話等の固定端末61、62、63、・・・が接続された既存の電話通信網30を介して行なわれることを示すために固定端末61、62、63、・・・を示したものであり、サーバ50が音楽コンテンツデータおよび着信メロディの配信先端末として固定端末61、62、63、・・・を示したものではない。

## 【0066】

携帯電話機10、11、・・・の各ユーザは、音楽コンテンツデータの配信を希

端末情報は、携帯電話機 1 0 が正規の携帯電話機であるか否かを確認するための情報、つまり、携帯電話機 1 0 を認証するための認証データである。この認証データは、通常、携帯電話機 1 0 の電話番号、携帯電話機 1 0 のユーザの名前、および契約番号等である。

【 0 0 7 1 】

さらに、音声ガイダンス部 5 1 は、データ制御部 5 2 から携帯電話機 1 0 が正規の携帯電話機であることが認証されたことを示す信号を受信すると、音楽コンテンツデータのジャンルリストを双方向通信によって携帯電話機 1 0 へ送信し、携帯電話機 1 0 からジャンルリストの中から選択されたジャンルのジャンル番号を受信する。そして、音声ガイダンス部 5 1 は、その選択されたジャンルに含まれる曲名リストを携帯電話機 1 0 へ送信する。このように音声ガイダンス部 5 1 は、ジャンルリストおよび曲名リストを保持しており、音楽コンテンツデータの配信要求があったとき、配信する音楽コンテンツデータを特定する機能を果たす。音声ガイダンス部 5 1 は、携帯電話機 1 0 から選曲された音楽コンテンツデータの番号を受信すると、その番号をデータ配信制御部 5 2 へ出力する。

【 0 0 7 2 】

データ配信制御部 5 2 は、サーバ 5 0 へアクセスしてきた携帯電話機 1 0 が正規の携帯電話機であるか否かを確認するために、音声ガイダンス部 5 1 が携帯電話機 1 0 から受信した端末情報を、データベース部 5 3 の認証データ保持部 5 3 3 に保持された認証データと比較する。そして、データ配信制御部 5 2 は、携帯電話機 1 0 が正規の携帯電話機であることを確認すると、その旨を示す信号を音声ガイダンス部 5 1 へ送信する。また、データ配信制御部 5 2 は、音声ガイダンス部 5 1 から選曲された音楽コンテンツデータの番号を受信すると、その番号に対応する音楽コンテンツデータを音楽コンテンツ用データベース 5 3 1 から抽出するとともに、着信メロディ用データベース 5 3 2 から着信メロディを抽出し、音楽コンテンツデータと着信メロディとを通信装置（図示省略）を介して携帯電話機 1 0 へ配信する。データ配信制御部 5 2 は、選曲された音楽コンテンツデータに関連するメロディを着信メロディとして選択する方法、サーバ 5 0 へのアクセス回数の多い順序に従って、そのアクセス回数の多い曲の一部を着信メロディ

として選択する方法、およびジャンル毎に決められた着信メロディを選択する方法のいずれかの方法によって着信メロディを抽出する。さらに、データ配信制御部 5 2 は、音楽コンテンツデータおよび着信メロディの携帯電話機 1 0 への配信が終了すると配信終了信号を通信装置（図示省略）を介して携帯電話機 1 0 へ送信する。

#### 【 0 0 7 3 】

音楽コンテンツ用データベース 5 3 1 は、各種の音楽コンテンツデータを保持している。すなわち、音楽コンテンツ用データベース 5 3 1 は、演歌、ロック、J - P O P 等の各種のジャンルの音楽コンテンツデータを保持している。

#### 【 0 0 7 4 】

着信メロディ用データベース 5 3 2 は、各種の着信メロディを保持している。音楽コンテンツデータおよび着信メロディは、MP 3 方式（M P E G - 1 オーディオ・レイヤー 3 方式）によって圧縮された圧縮データとして、それぞれ、音楽コンテンツ用データベース 5 3 1、着信メロディ用データベース 5 3 2 に保持されている。

#### 【 0 0 7 5 】

図 3 を参照して、携帯電話機 1 0 の構成について説明する。携帯電話機 1 0 は、バス B S と、アンテナ 1 0 0 と、送信部 1 0 1 と、受信部 1 0 2 と、CPU 1 0 3 と、キー操作部 1 0 4 と、表示部 1 0 5 と、メモリ 1 0 6 と、着信音発生部 1 0 7 と、音声復号部 1 0 8 と、オーディオ復号部 1 0 9 と、音声入出力部 1 1 0 とを備える。

#### 【 0 0 7 6 】

アンテナ 1 0 0 は、基地局 2 0 からの信号を受信して受信部 1 0 2 へ出力するとともに、送信部 1 0 1 からの信号を基地局 2 0 へ送信する。送信部 1 0 1 は、基地局 2 0 へ送信する信号をバス B S から受取り、所定の通信方式に変調してアンテナ 1 0 0 へ出力する。受信部 1 0 2 は、アンテナ 1 0 0 から受取った信号を復調してバス B S に与える。

#### 【 0 0 7 7 】

CPU 1 0 3 は、受信部 1 0 2 が受信した音楽コンテンツデータおよび着信メ

ロディをバスB Sを介して受取り、音楽コンテンツデータおよび着信メロディをメモリ106へ書込む。また、CPU103は、メモリ106に書込んだ着信メロディをバスB Sを介してメモリ106から読出し、着信音発生部107に与え、着信メロディの設定を行なう。さらに、CPU103は、その他、携帯電話機10を構成する各部を制御する。キー操作部104は、ユーザがキー操作によって各種の指示を入力するためのものである。表示部105は、サーバ50から送られてきたジャンルリスト、曲名リストを視覚情報としてユーザに与えるものである。表示部105は、LCD (Liquid Crystal Display) によって構成される。メモリ106は、サーバ50から受信した音楽コンテンツデータおよび着信メロディを記憶する。また、メモリ106は、携帯電話機10が正規の携帯電話機であることを示す認証データを記憶する。メモリ106は、たとえば、EEPROMのような不揮発性メモリによって構成される。

#### 【0078】

着信音発生部107は、他の携帯電話機から着信があったとき設定された着信メロディに従って着信音を発生させ、バスB Sを介して音声入出力部110へ出力する。音声復号部108は、他の携帯電話機との通話において、受信部102が受信した相手側の音声データを復号する。オーディオ復号部109は、メモリ106に記憶された音楽コンテンツデータを復号する。つまり、オーディオ復号部109は、MP3方式によって圧縮された音楽コンテンツデータを解凍する。

#### 【0079】

音声入出力部110は、音声復号部108によって復号された音声信号、およびオーディオ復号部109によって復号された音楽データを外部へ出力するとともに、携帯電話機10のユーザが喋った音声データをを入力する。すなわち、音声入出力部110は、マイクとスピーカとによって構成される。

#### 【0080】

なお、図3においては、音楽コンテンツデータの配信動作に関わる構成要素のみを示し、携帯電話機の本来の機能である通話機能等を行なう構成要素に関しては省略している。

#### 【0081】

図 4 および図 5 を参照して、サーバ 5 0 から音楽コンテンツデータおよび着信メロディを受信するときのフローチャートについて説明する。まず、図 4 を参照して、音楽コンテンツデータのダウンロードが開始されると（ステップ S 1 0 0）、携帯電話機 1 0 のユーザはサーバ 5 0 へ電話をかけ、音楽コンテンツの配信要求を送信する（ステップ S 1 0 2）。サーバ 5 0 の音声ガイダンス部 5 1 は、音楽コンテンツの配信要求を受信して携帯電話機 1 0 との間で双方向通信を確立する（ステップ S 1 0 4）。そして、音声ガイダンス部 5 1 は、携帯電話機 1 0 から音楽コンテンツの配信要求を受信したことをデータ配信制御部 5 2 へ出力する。そうすると、データ配信制御部 5 2 は、ユーザ端末情報を要求するように音声ガイダンス部 5 1 を制御し、音声ガイダンス部 5 1 は、ユーザ端末情報の要求を双方向通信によって携帯電話機 1 0 へ送信する（ステップ S 1 0 6）。携帯電話機 1 0 の CPU 1 0 3 は、アンテナ 1 0 0、受信部 1 0 2、およびバス B S を介してユーザ端末情報の要求を受信し（ステップ S 1 0 8）、バス B S を介してメモリ 1 0 6 から携帯電話機 1 0 の認証データを読み出し、バス B S、送信部 1 0 1、およびアンテナ 1 0 0 を介してサーバ 5 0 へ送信する（ステップ S 1 1 0）。

#### 【 0 0 8 2 】

サーバ 5 0 の音声ガイダンス部 5 1 は、携帯電話機 1 0 から認証データを受信すると（ステップ S 1 1 2）、その受信した認証データをデータ配信制御部 5 2 へ出力する。そして、データ配信制御部 5 2 は、音声ガイダンス部 5 1 から入力された認証データを、認証データ保持部 5 3 3 に保持された認証データと比較することによって携帯電話機 1 0 の認証処理を行なう（ステップ S 1 1 3）。データ配信制御部 5 2 は、携帯電話機 1 0 から送られてきた認証データが、認証データ保持部 5 3 3 に保持された認証データに一致するとき携帯電話機 1 0 が認証されたと判断し、携帯電話機 1 0 から送られてきた認証データが、認証データ保持部 5 3 3 に保持された認証データに不一致であるとき携帯電話機 1 0 が認証されなかったと判断する（ステップ S 1 1 4）。ステップ S 1 1 4 において、携帯電話機 1 0 が認証されなかったとき、図 5 のステップ S 1 5 6 へ移行し、音楽コンテンツデータの配信動作は終了する。

## 【 0 0 8 3 】

ステップ S 1 1 4 において、携帯電話機 1 0 が認証されたとき、データ配信制御部 5 2 は、携帯電話機 1 0 が認証された旨を音声ガイダンス部 5 1 へ出力し、音声ガイダンス部 5 1 は、保持している音楽コンテンツのジャンルリストを双方向通信によって携帯電話機 1 0 へ送信する（ステップ S 1 1 6）。携帯電話機 1 0 の CPU 1 0 3 は、アンテナ 1 0 0、受信部 1 0 2、およびバス B S を介してジャンルリストを受信し（ステップ S 1 1 8）、バス B S を介して表示部 1 0 5 にジャンルリストを表示する。すなわち、表示部 1 0 5 には、図 6 に示すようなジャンルリスト 7 0 が表示される。携帯電話機 1 0 のユーザは、表示部 1 0 5 に表示されたジャンルリスト 7 0 を見て、好みのジャンルを選択する。つまり、ユーザは、番号 1. ポップス、2. 演歌、3. ジャズ、4. 童謡、・・・の中から好みのジャンルの番号 1, 2, 3, 4, ... をキー操作部 1 0 4 から入力することによってジャンルを選択する。そうすると、CPU 1 0 3 は、入力されたジャンル番号をバス B S、送信部 1 0 1、およびアンテナ 1 0 0 を介してサーバ 5 0 へ送信する（ステップ S 1 2 0）。サーバ 5 0 の音声ガイダンス部 5 1 は、選択されたジャンル番号を受信し（ステップ S 1 2 2）、選択されたジャンルに含まれる音楽コンテンツの曲名リストを携帯電話機 1 0 へ送信する（ステップ S 1 2 4）。

## 【 0 0 8 4 】

携帯電話機 1 0 の CPU 1 0 3 は、アンテナ 1 0 0、受信部 1 0 2、およびバス B S を介して、曲名リストを受信し（ステップ S 1 2 6）、バス B S を介して表示部 1 0 5 に曲名リストを表示する。すなわち、CPU 1 0 3 は、図 7 に示す曲名リスト 7 1 を表示部 1 0 5 に表示する。曲名リスト 7 1 は、音楽コンテンツデータの曲名と、そのデータサイズとからなる。ユーザは、表示部 1 0 5 に表示された曲名リストの中からダウンロードを希望する音楽コンテンツデータを、番号 1, 2, 3, ... をキー操作部 1 0 4 から入力することによって選択する。また、CPU 1 0 3 は、キー操作部 1 0 4 から入力された番号の音楽コンテンツデータのデータサイズに基づいて、選択された音楽コンテンツデータをメモリ 1 0 6 に記憶するだけの空き容量があるか否かをチェックし、空き容量があることを

確認した後（ステップ S 1 2 8）、選択された曲番号をサーバ 5 0 へ送信する（ステップ S 1 3 0）。そして、サーバ 5 0 の音声ガイダンス部 5 1 は、曲番号を受信する（ステップ S 1 3 2）。

#### 【 0 0 8 5 】

音声ガイダンス部 5 1 は、曲番号を受信すると、確認応答要求を送信する。つまり、携帯電話機 1 0 のユーザがサーバ 5 0 へ配信を要求した音楽コンテンツデータは、「このジャンルに含まれる、この音楽コンテンツデータであるが、それで間違いはありませんか？」という確認応答要求を携帯電話機 1 0 へ送信する（ステップ S 1 3 4）。携帯電話機 1 0 の CPU 1 0 3 は、アンテナ 1 0 0、受信部 1 0 2、およびバス B S を介して確認応答要求を受信し（ステップ S 1 3 6）、サーバ 5 0 へ配信要求を行なった音楽コンテンツデータのジャンルおよび曲名を確認する（ステップ S 1 3 8）。CPU 1 0 3 は、受信した確認応答が配信要求を行った内容と異なる場合は、図 4 のステップ S 1 2 0 へ戻り、ステップ S 1 2 0 ～ステップ S 1 3 6 が繰返し行われる。CPU 1 0 3 は、受信した確認応答が配信要求を行った内容と一致する場合は、確認応答をバス B S、送信部 1 0 1、およびアンテナ 1 0 0 を介してサーバ 5 0 へ送信する（S 1 4 0）。サーバ 5 0 の音声ガイダンス部 5 1 は、確認応答を受信すると（ステップ S 1 4 2）、その旨をデータ配信制御部 5 2 へ出力する。

#### 【 0 0 8 6 】

そうすると、データ配信制御部 5 2 は、音声ガイダンス 5 1 が受信した曲番号に基づいて、音楽コンテンツ用データベース 5 3 1 から選択された音楽コンテンツデータを抽出するとともに、着信メロディ用データベース 5 3 2 から着信メロディを抽出する。そして、データ配信制御部 5 2 は、音楽コンテンツデータおよび着信メロディを携帯電話機 1 0 へ送信する（ステップ S 1 4 4）。

#### 【 0 0 8 7 】

携帯電話機 1 0 の CPU 1 0 3 は、アンテナ 1 0 0、受信部 1 0 2、およびバス B S を介して音楽コンテンツデータおよび着信メロディを受信し（ステップ S 1 4 6）、その受信した音楽コンテンツデータおよび着信メロディをバス B S を介してメモリ 1 0 6 に書込む（ステップ S 1 4 8）。



## 【 0 0 8 8 】

サーバ 5 0 のデータ配信制御部 5 2 は、音楽コンテンツデータおよび着信メロディの送信を終了すると、配信終了信号を携帯電話機 1 0 へ送信する（ステップ S 1 5 0）。そして、携帯電話機 1 0 の CPU 1 0 3 は、アンテナ 1 0 0、受信部 1 0 2、およびバス B S を介して配信終了信号を受信すると（ステップ S 1 5 2）、バス B S を介してメモリ 1 0 6 から着信メロディを読み出し、その読み出した着信メロディをバス B S を介して着信音発生部 1 0 7 に与える。これによって、着メロディが着信音発生部 1 0 7 に新たに設定される（ステップ S 1 5 4）。そして、音楽コンテンツデータおよび着信メロディの配信動作は終了する（ステップ S 1 5 6）。

## 【 0 0 8 9 】

音楽コンテンツデータおよび着信メロディの配信動作においては、通常、図 4 および図 5 に示すフローチャートのステップ S 1 0 0 ～ステップ S 1 5 4 の全てを携帯電話機 1 0 とサーバ 5 0 との間で回線を確立した状態である通話状態で行なう。また、本発明においては、図 4 のステップ 1 0 0 から図 5 のステップ S 1 4 2 までを通話状態で行ない、ステップ S 1 4 4 ～ステップ S 1 5 6 を非通話状態で行なっても良い。この非通話状態における音楽コンテンツデータおよび着信メロディの受信とは、携帯電話機 1 0 の待受け状態におけるデータの受信を意味し、音楽コンテンツデータおよび着信メロディはパケット通信によって携帯電話機 1 0 に送信される。

## 【 0 0 9 0 】

着信メロディが着信音発生部 1 0 7 に設定された後に、他の携帯電話機からの着信があると、CPU 1 0 3 は、着信があったこと示す信号をバス B S を介して着信音発生部 1 0 7 へ出力する。着信音発生部 1 0 7 は、着信があったことを示す信号を受信すると、設定された着信音に従って着信メロディを発生させ、その発生させた着信メロディを、バス B S を介して音声入出力部 1 1 0 へ与える。そして、音声入出力部 1 1 0 は、着信メロディを外部へ発生させる。これによって、携帯電話機 1 0 のユーザは、新たに受信した着信メロディを聴いて着信があったことを知ることができる。

## 【0091】

また、携帯電話機10のCPU103は、キー操作部104からの音楽コンテンツデータの再生要求に応じてバスBSを介してメモリ106から音楽コンテンツデータを読み出し、その読み出した音楽コンテンツデータをバスBSを介してオーディオ復号部109へ与える。オーディオ復号部109は、入力された音楽コンテンツデータを復号する。そして、CPU103は、復号された音楽コンテンツデータを音声入出力部110へ与え、音声入出力部110は、音楽コンテンツデータを外部へ出力する。これによって、携帯電話機10のユーザは、サーバ50からダウンロードした音楽コンテンツデータを聴くことができる。

## 【0092】

上述したように、携帯電話機10のユーザは、既存の電話通信網30を介してサーバ50から希望する音楽コンテンツデータと着信メロディとを同時に受信することができる。

## 【0093】

本発明による音楽コンテンツデータの配信動作は、次に説明するものであっても良い。すなわち、図4に示すステップS100からステップS132を実行した後、図8および図9に示す各ステップを実行するものであっても良い。図4のステップS132の後、サーバ50の音声ガイダンス部51は、受信した曲番号をデータ配信制御部52へ出力する。そして、データ配信制御部52は、着信メロディを着信メロディ用データベース532から選択し、着信メロディを再生部（図示省略）で再生した後、その再生した着信メロディを音声ガイダンス部51へ与える。そうすると、音声ガイダンス部51は、再生された着信メロディを双方向通信によって携帯電話機10へ送信する（ステップS133A）。

## 【0094】

携帯電話機10のCPU103は、アンテナ100、受信部102、およびバスBSを介して再生された着信メロディを受信し、バスBSを介して音声入出力部110へ与える。そして、音声入出力部110は、再生された着信メロディを外部へ出力し、ユーザは着信メロディを試聴する（ステップS133B）。ユーザは、着信メロディを試聴した結果、配信を希望するとき、着信メロディの配信

要求をキー操作部 1 0 4 から入力する。また、ユーザは、着信メロディを試聴した結果、配信を希望しないとき、着信メロディの配信不要求をキー操作部 1 0 4 から入力する。

【 0 0 9 5 】

CPU 1 0 3 は、着信メロディの配信を要求するか否かを判別し（ステップ S 1 3 3 C）、着信メロディの配信要求をキー操作部 1 0 4 を介して受信したとき、バス B S、送信部 1 0 1、およびアンテナ 1 0 0 を介して着信メロディの配信要求をサーバ 5 0 へ送信する（ステップ S 1 3 3 D）。

【 0 0 9 6 】

そうすると、サーバ 5 0 の音声ガイダンス部 5 1 は、着信メロディの配信要求を受信する（ステップ S 1 3 3 E）。その後、図 5 を参照して説明したステップ S 1 3 4 ～ステップ S 1 5 4 を実行し、図 9 のステップ S 1 8 4 へ移行する。

【 0 0 9 7 】

また、ステップ S 1 3 3 C において着信メロディの配信を要求しないと判断されると、図 9 のステップ S 1 6 0 へ移行する。すなわち、携帯電話機 1 0 の CPU 1 0 3 は、着信メロディの配信不要求をバス B S、送信部 1 0 1、およびアンテナ 1 0 0 を介してサーバ 5 0 へ送信する（ステップ S 1 6 0）。そして、サーバ 5 0 の音声ガイダンス部 5 1 は、着信メロディの配信不要求を受信する（ステップ S 1 6 2）。その後、音声ガイダンス部 5 1 は、確認応答要求を送信する。つまり、携帯電話機 1 0 のユーザがサーバ 5 0 へ配信を要求した音楽コンテンツデータは、「このジャンルに含まれる、この音楽コンテンツデータであるが、それで間違いはありませんか？、着信メロディの配信は希望しないのですね？」という確認応答要求を携帯電話機 1 0 へ送信する（ステップ S 1 6 4）。携帯電話機 1 0 の CPU 1 0 3 は、アンテナ 1 0 0、受信部 1 0 2、およびバス B S を介して確認応答要求を受信し（ステップ S 1 6 6）、サーバ 5 0 へ配信要求を行なった音楽コンテンツデータのジャンルおよび曲名を確認する（ステップ S 1 6 8）。CPU 1 0 3 は、受信した確認応答が配信要求を行った内容と異なる場合は、図 4 のステップ S 1 2 0 へ戻り、図 4 のステップ S 1 2 0 ～ステップ S 1 3 2、および図 9 のステップ S 1 6 2 ～ステップ S 1 6 8 が繰返し行われる。CPU

103は、受信した確認応答が配信要求を行った内容と一致する場合は、確認応答をバスBS、送信部101、およびアンテナ100を介してサーバ50へ送信する（ステップS170）。サーバ50の音声ガイダンス部51は、確認応答を受信すると（ステップS172）、その旨をデータ配信制御部52へ出力する。

【0098】

そうすると、データ配信制御部52は、音声ガイダンス51が受信した曲番号に基づいて、音楽コンテンツ用データベース531から選択された音楽コンテンツデータを抽出する。この場合、データ配信制御部52は、携帯電話機10から着信メロディの配信不要求を受信しているので、着信メロディ用データベース532から着信メロディを読出すことはない。そして、データ配信制御部52は、音楽コンテンツデータを携帯電話機10へ送信する（ステップS174）。

【0099】

携帯電話機10のCPU103は、アンテナ100、受信部102、およびバスBSを介して音楽コンテンツデータを受信し（ステップS176）、その受信した音楽コンテンツデータをバスBSを介してメモリ106に書込む（ステップS178）。

【0100】

サーバ50のデータ配信制御部52は、音楽コンテンツデータの送信を終了すると、配信終了信号を携帯電話機10へ送信する（ステップS180）。そして、携帯電話機10のCPU103は、アンテナ100、受信部102、およびバスBSを介して配信終了信号を受信して（ステップS182）、音楽コンテンツデータの配信動作は終了する（ステップS184）。

【0101】

図4、図8、および図9に示されたフローチャートによる音楽コンテンツデータの配信動作においては、ユーザは着信メロディを試聴して気に入った場合だけサーバ50から配信してもらうことができる。したがって、ユーザは、自分の携帯電話機10に好みの着信メロディのみを設定することができる。

【0102】

本発明による音楽コンテンツデータの配信動作は、次に説明するものであって

も良い。すなわち、図10に示すステップS100～ステップS129を行なった後、図8のステップS133D～S154または図9に示すステップS160～S184を実行するものであっても良い。

#### 【0103】

図10のステップS100～ステップS128は、図4に示すステップS100～ステップS128と同じである。ステップS128の後、携帯電話機10のCPU103は、着信メロディの配信要求を行なうか否かを判断し（ステップS129）、着信メロディの配信要求を行なう場合は図8のステップS133dへ移行し、ステップS133D～ステップS154が実行される。つまり、上述した着信メロディの配信要求を行なう場合のステップが実行される。一方、ステップS129において、CPU103が着信メロディの配信要求しないと判断したときは、図9のステップS160へ移行し、ステップS160～ステップS184が実行される。つまり、上述した着信メロディの配信を要求しない場合のステップが実行される。

#### 【0104】

図10を参照したフローチャートに従えば、携帯電話機10のユーザは、音楽コンテンツデータの配信要求をサーバ50へ行なう度毎に着信メロディをサーバ50から受信する必要はなく、着信メロディの受信を希望する場合だけ着信メロディを受信できる。

#### 【0105】

上述した音楽コンテンツデータの配信動作によって受信した着信メロディは、受信と同時に着信音発生部107に設定しなくても良く、携帯電話機10のユーザが設定したいタイミングで設定しても良い。その場合、ユーザは、キー操作部104から着信メロディの設定要求を入力する。そうすると、CPU103は、着信メロディの設定要求に応じてメモリ106から着信メロディを読み出し、その読み出した着信メロディを着信音発生部107に設定する。これによって、ユーザは、自己が希望するタイミングで着信メロディを携帯電話機10に設定できる。

#### 【0106】

また、上述した音楽コンテンツデータの配信動作においては、携帯電話機10

のユーザは、音楽コンテンツデータの受信に対して料金を支払う。したがって、携帯電話機 1 0 のユーザは、音楽コンテンツデータとともに着信メロディも受信した場合でも音楽コンテンツデータに対してのみ料金を支払う。また、携帯電話機 1 0 のユーザは、上述した各種の配信動作を用いることによって好みの着信メロディを受信したタイミングで受信することができる。

#### 【 0 1 0 7 】

図 1 1 を参照して、音楽コンテンツデータを配信するビジネス方法について説明する。なお、図 1 1 において実線の矢印は情報の流れを示し、点線の矢印は金銭の流れを示す。

#### 【 0 1 0 8 】

ユーザ 3 0 0 は、携帯電話機 1 0 を用いて事業者 4 0 0 との間で上述したシステムに従って音楽コンテンツデータおよび着信メロディを配信してもらい、その代償として事業者 4 0 0 に基本料金、通話料金、および購入コンテンツの対価を支払う。この場合、ユーザ 3 0 0 は、購入した音楽コンテンツデータに対する対価のみを支払う。したがって、ユーザ 3 0 0 は、着信メロディをサービスとして受信することができる。

#### 【 0 1 0 9 】

事業者 4 0 0 は、音楽会社 5 0 から音楽コンテンツデータの提供を受け、音楽コンテンツデータの宣伝および販売をユーザ 3 0 0 に対して行なう。そして、事業者 4 0 0 は、音楽会社 5 0 0 から広告料および販売手数料を徴収し、販売用音楽コンテンツの対価を音楽会社 5 0 0 へ支払う。

#### 【 0 1 1 0 】

全体的には、事業者 4 0 0 は、ユーザ 3 0 0 からの音楽コンテンツデータの配信要求に応じて音楽コンテンツデータおよび着信メロディをユーザ 3 0 0 へ送信する代償として音楽コンテンツデータの対価をユーザ 3 0 0 から徴収する。また、事業者 4 0 0 は、音楽会社 5 0 0 に対して販売用音楽コンテンツデータの対価を支払い、音楽会社 5 0 0 から広告料および音楽コンテンツデータの販売手数料を徴収する。これによって、事業者 4 0 0 は、着信メロディを音楽コンテンツデータの広告として機能させることができ、着信メロディを気に入れば、その着信

メロディを含む音楽コンテンツデータの配信要求を受取る。これによって、事業者400は、音楽コンテンツデータの販売数を増加させることができる。事業者400が音楽コンテンツデータの販売数を増加させれば、事業者400は、より多くの音楽コンテンツの対価を音楽会社500へ支払う。その結果、音楽会社500は、広告料および販売手数料をより多く事業者400に支払う。その結果、正のフィードバックが生じ、事業者400、および音楽会社500の収入が増加するとともに、ユーザ300は、好きな音楽コンテンツデータおよび着信メロディを受信し、受信した着信メロディを自己の携帯電話機に設定することができる。

#### 【0111】

上記においては、音楽コンテンツデータとともに着信メロディを携帯電話機10へ配信する例について説明したが、コンテンツデータは音楽コンテンツデータに限られず、画像データ、地図データ等の音楽以外のコンテンツデータであっても良い。本発明においては、携帯電話機のユーザが自己の携帯電話機に着信メロディを自動設定できるものであればどのようなコンテンツデータとともに着信メロディを配信しても良い。また、最近の携帯電話機の機能アップを考慮すると、携帯電話機で画像データを受信したり、地図データを受信して携帯電話機をナビゲーターとして使用することも考えられる。したがって、画像データおよび地図データの配信とともに着信メロディを携帯電話機に配信しても良い。

#### 【0112】

今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は、上記した実施の形態の説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による音楽コンテンツデータの配信システムを概念的に説明するための概略図である。

【図2】 図1に示すサーバの機能を説明するためのブロック図である。

【図3】 図1に示す携帯電話機の構成を説明するためのブロック図である

【図 4】 音楽コンテンツデータの配信動作を説明するための第 1 のフローチャートである。

【図 5】 音楽コンテンツデータの配信動作を説明するための第 2 のフローチャートである。

【図 6】 携帯電話機の表示部に表示されたジャンルリストを示す図である。

【図 7】 携帯電話機の表示部に表示された曲名リストを示す図である。

【図 8】 音楽コンテンツデータの他の配信動作を説明するための第 1 のフローチャートである。

【図 9】 音楽コンテンツデータの他の配信動作を説明するための第 2 のフローチャートである。

【図 10】 音楽コンテンツデータのさらに他の配信動作を説明するための第 1 のフローチャートである。

【図 11】 本発明によるビジネス方法を概略的に説明するための概念図である。

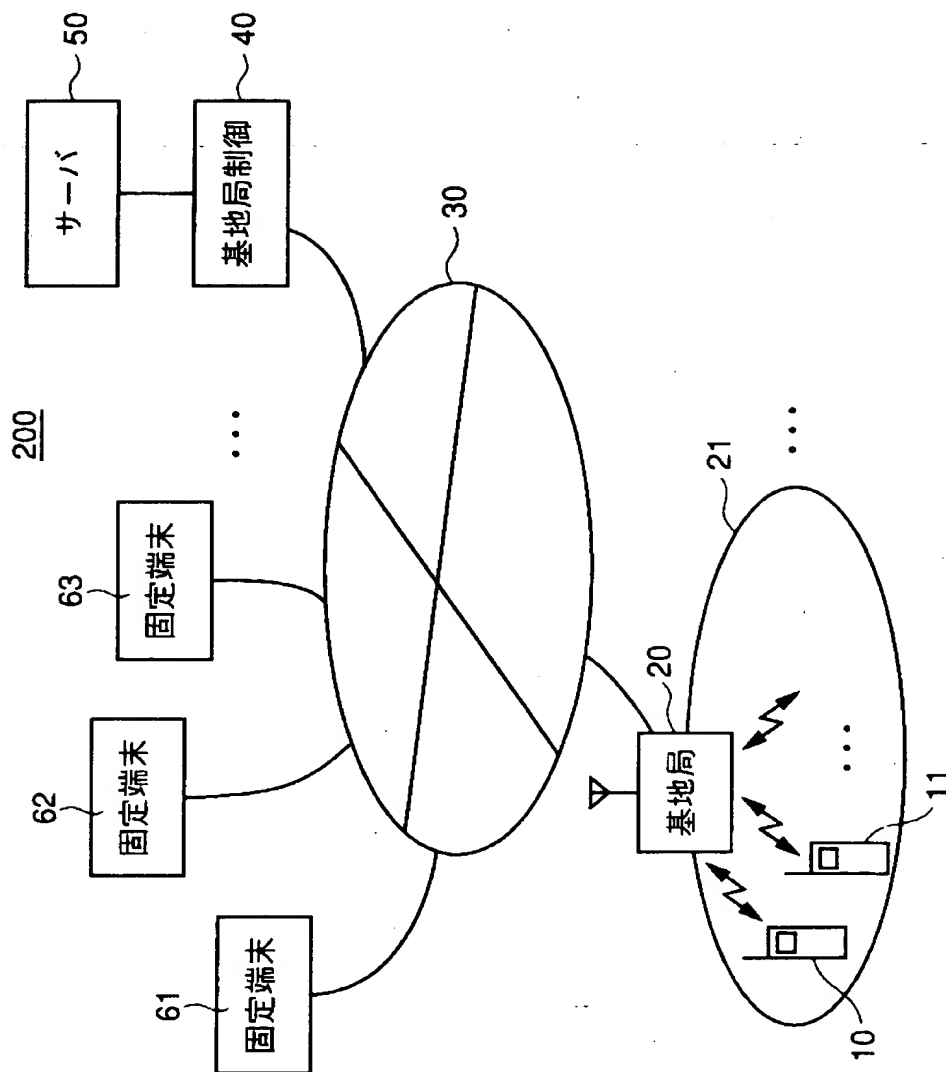
【符号の説明】

10, 11 携帯電話機、20 基地局、21 基地局エリア、30 電話通信網、40 基地局制御部、50 サーバ、51 音声ガイダンス部、52 データ配信制御部、53 データベース部、61～63 固定端末、70 ジャンルリスト、71 曲名リスト、100 アンテナ、101 送信部、102 受信部、103 CPU、104 キー操作部、105 表示部、106 メモリ、107 着信音発生部、108 音声復号部、109 オーディオ復号部、110 音声入出力部、200 配信システム、300 ユーザ、400 事業者、500 音楽会社、531 音楽コンテンツ用データベース、532 着信メロディ用データベース、533 認証データ保持部。

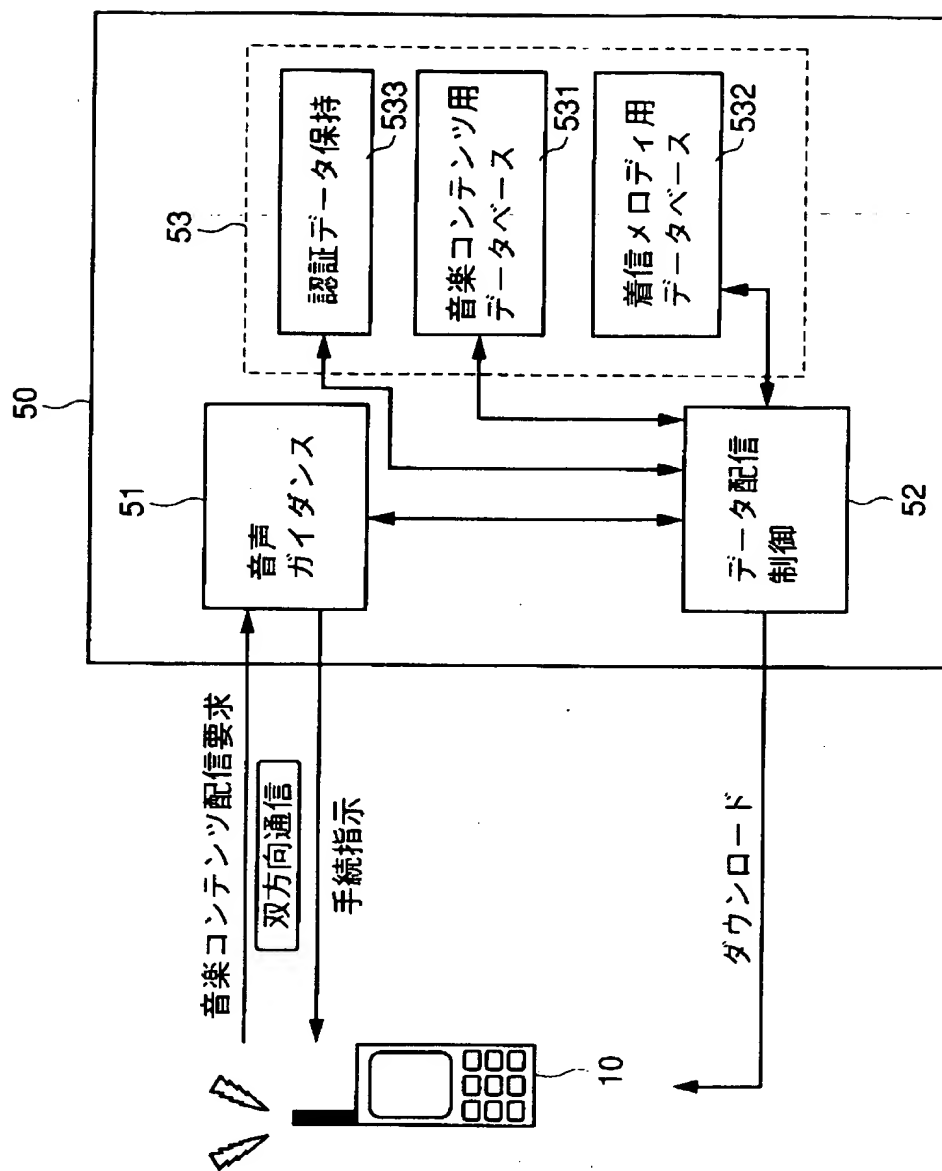


【書類名】 図面

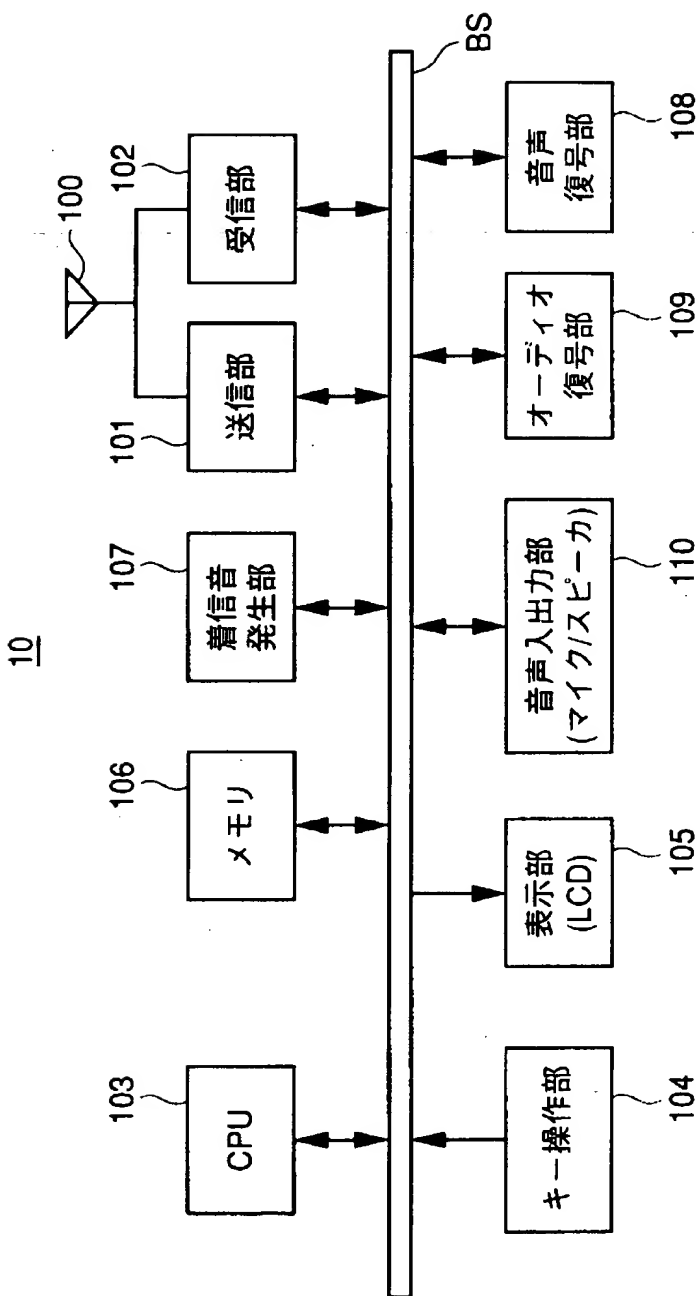
【図 1】



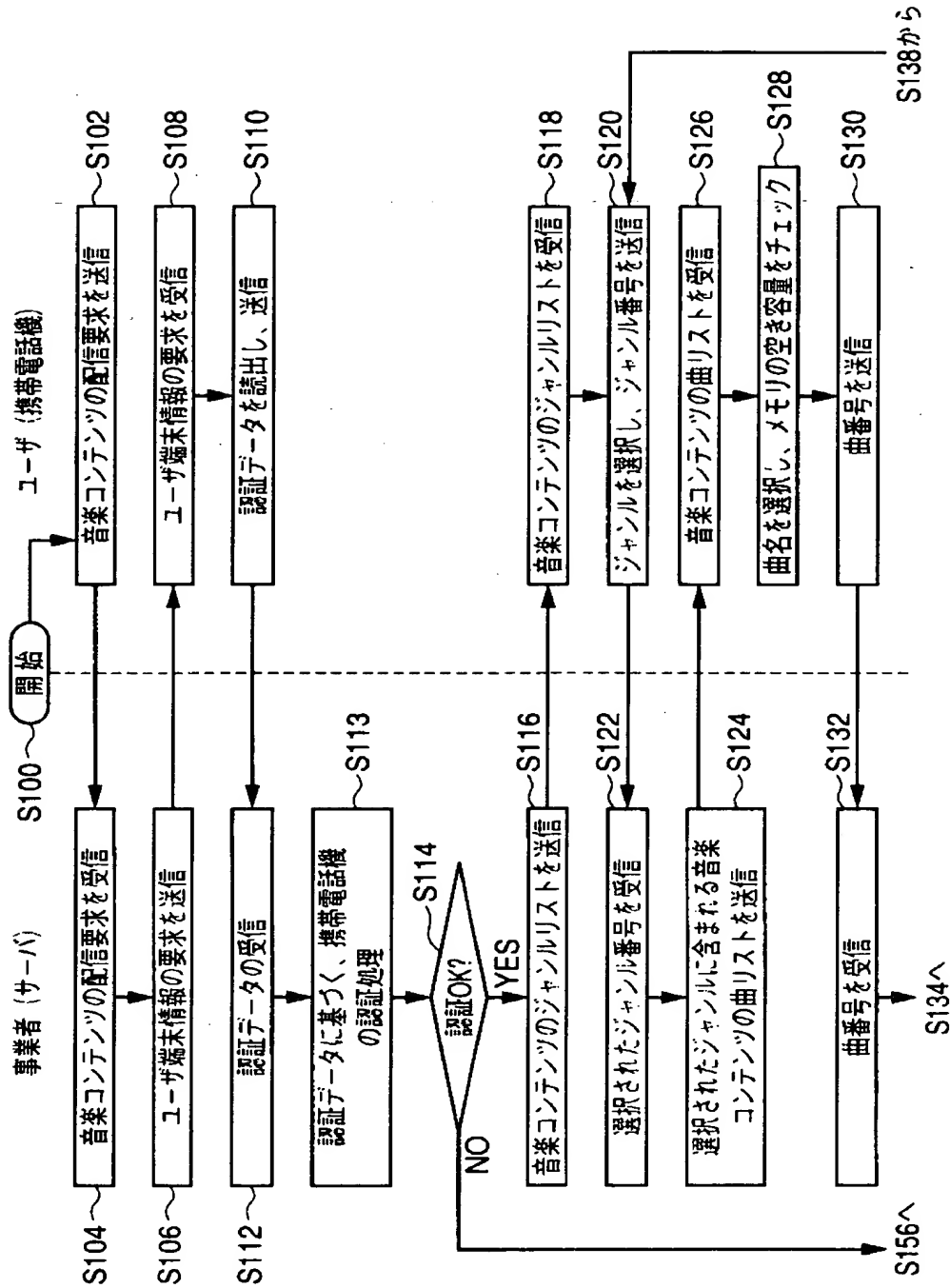
【図2】



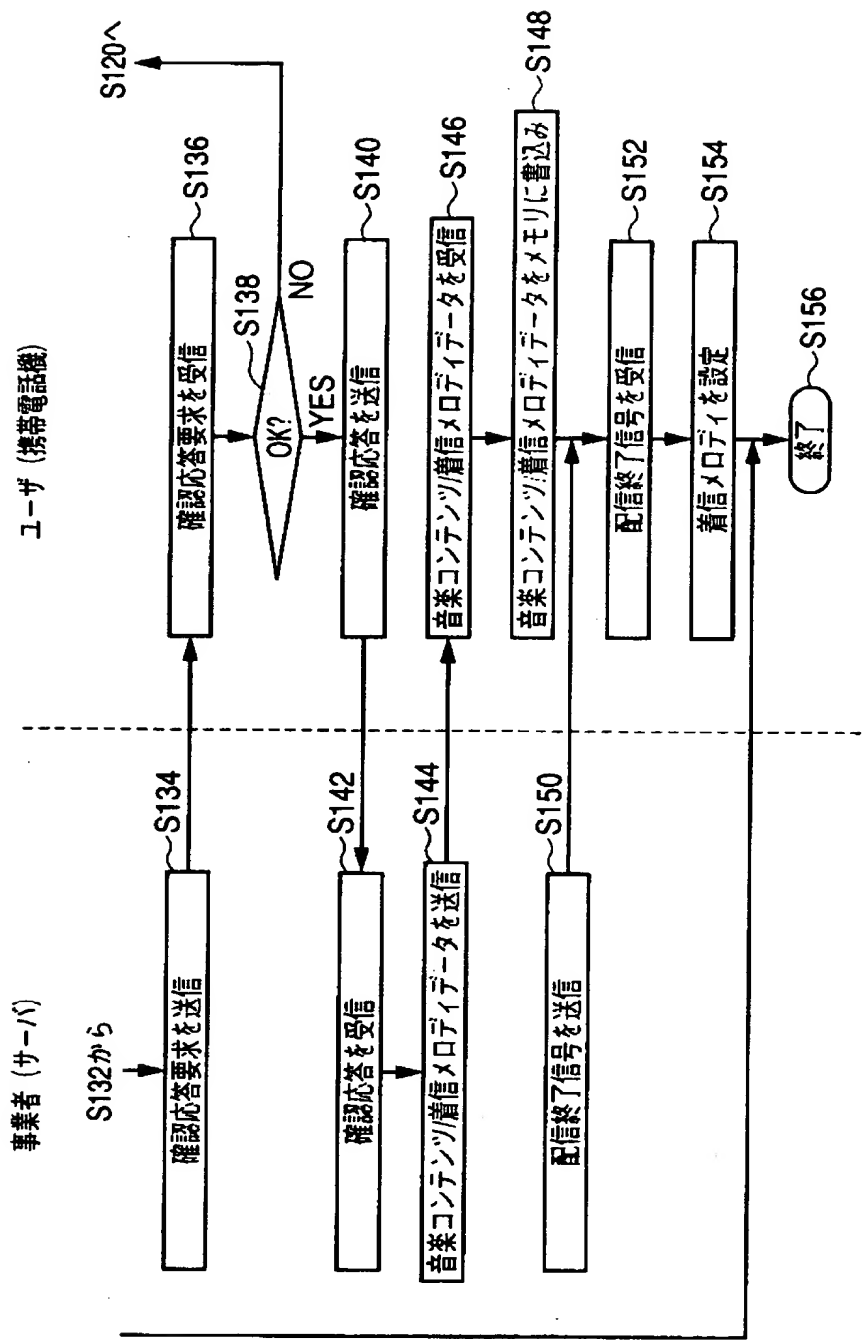
【図3】



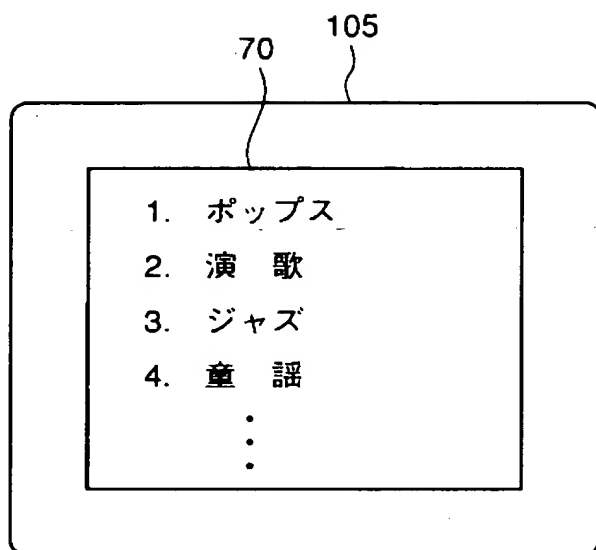
【図 4】



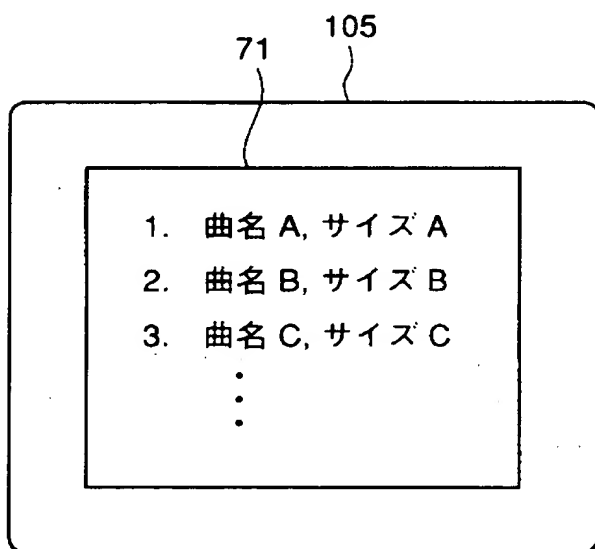
【図 5】



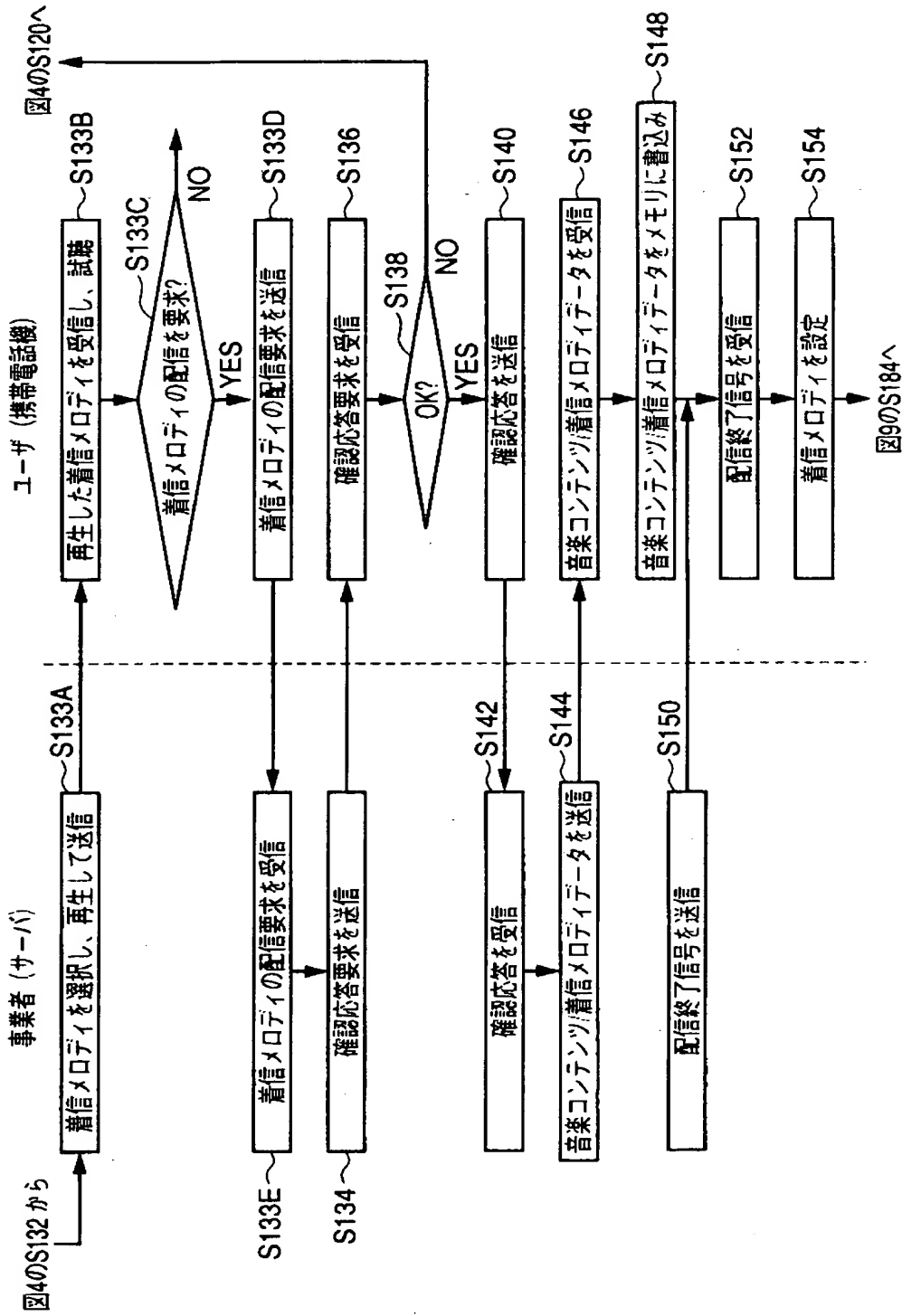
【図 6】



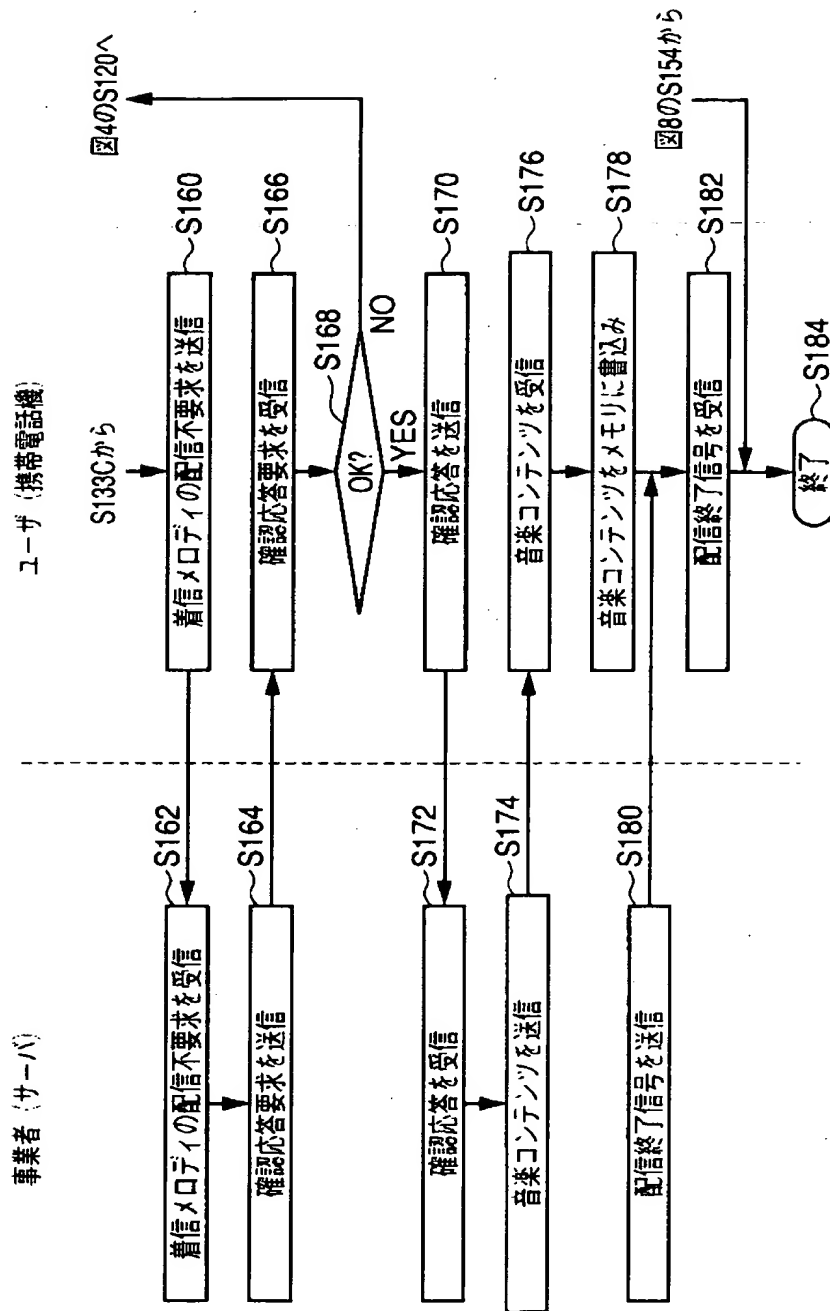
【図 7】



【図 8】

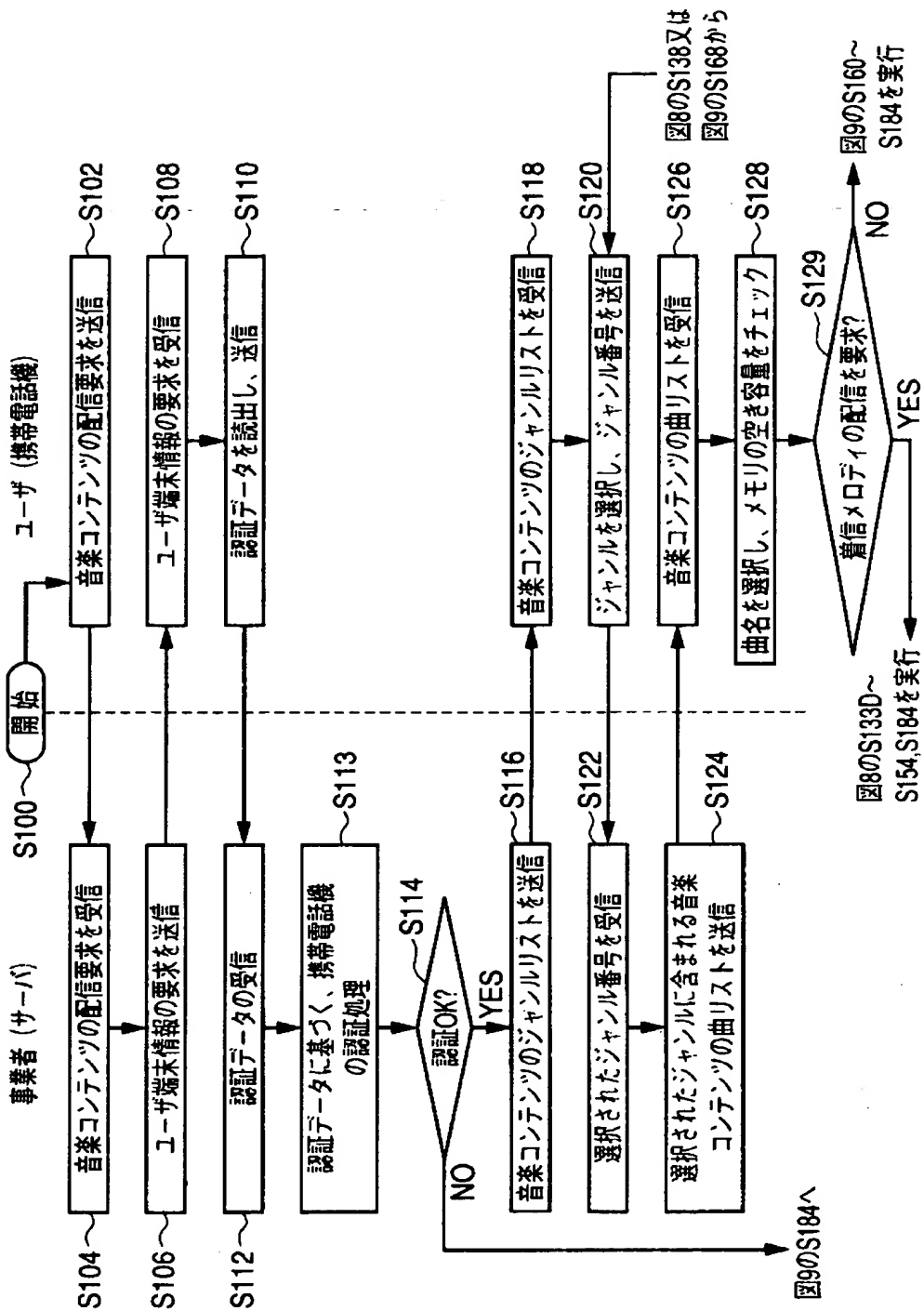


【図 9】

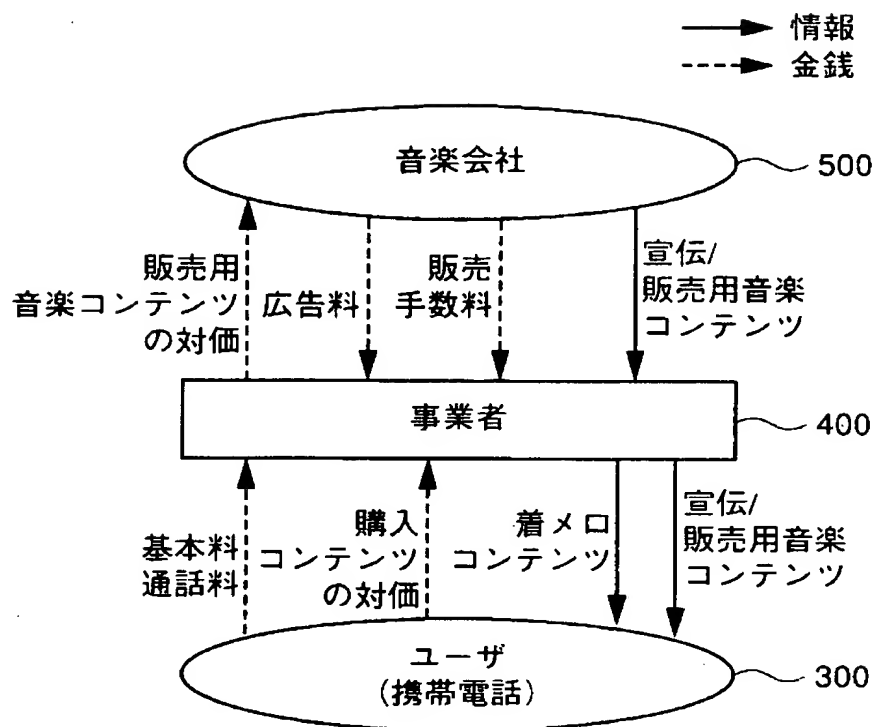




【図 1 0】



【図 11】



【書類名】            要約書

【要約】

【課題】    簡単に着信メロディを登録・変更できるコンテンツデータの配信システムおよび携帯電話機を提供することである。

【解決手段】    携帯電話機 1 0, 1 1, ・ ・ のユーザは、自己の携帯電話機 1 0, 1 1, ・ ・ を用いて基地局 2 0、電話通信網 3 0、および基地局制御部 4 0 を介してサーバ 5 0 へアクセスし、音楽コンテンツデータの配信を要求する。サーバ 5 0 は、アクセスしてきた携帯電話機 1 0, 1 1, ・ ・ を認証した後、配信要求された音楽コンテンツデータと着信メロディとを携帯電話機 1 0, 1 1, ・ ・ に配信する。この場合、携帯電話機 1 0, 1 1, ・ ・ のユーザは、音楽コンテンツデータに対する対価のみを支払う。

【選択図】            図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000001889]

1. 変更年月日 1993年10月20日

[変更理由] 住所変更

住 所 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号  
氏 名 三洋電機株式会社



Creation date: 11-03-2004  
Indexing Officer: BTRUONG2 - BINH TRUONG  
Team: OIPEBackFileIndexing  
Dossier: 09986970

Legal Date: 12-16-2003

No.	Doccode	Number of pages
1	C.AD	1

Total number of pages: 1

Remarks:

Order of re-scan issued on .....